



シルバーだより

No. 342
平成 31 年 3 月 1 日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 平成の桜 —

名誉学長 原田 治子

春がそっと近づいてきました。わが家の狭い庭で冬の間枯れたふりをしていた木々も、小鳥のさえずりも嬉しそうです。

間もなく、元号平成の終わりを告げる桜が満開になります。今年の桜とは心して向き合い、自分の 30 年間の思い出を紡いでみませんか。よろこびも悲しみも積乱雲のように湧いてくるでしょう。

さくらさくら／今年のさくらは涙のさくら／やわらかい光の中に舞い下りる花びら／私の手の掌にのりました／せつなさがにじんで見えなくなりました／天空から「来年もこのベンチでね」／あの日の声が聞こえてきます／時は移り誰かがここで／笑顔のさくらをめぐるでしょう。

大切な友を失ったその年、ひとりぼっちのベンチで空に語り掛けた私の記録です（平成 24 年 4 月）。当たり前だったことが当たり前でなくなった時、失ったものの大切さを知るのですね。時は絶え間なく流れ常に変わらぬ表情をしています。30 年を顧みるとき「時は無常」であることに思いをいたすでしょう。日本の各地を襲った自然災害や忌わしい事件や事故。それによって平穏な生活を奪われた人たち。ごく身近なことだけを考えても、自身の衰え、親しい人たちとの別れもあれば、良き人やうれしいことなどとの出会い…。

荒川シルバー大学も、この 30 年間で小さな苗木が大木に育ちました。陶芸・音楽の 2 教科からはじまって現在は 33 教科。旧真土小学校から一部を残し生涯学習センターへの引越し。事務所と専任事務職員（現・田原室長）の確保。文化祭が学園祭となり町屋文化センターからムーブ町屋へ。学芸会の開設。講師会の設置や運営組織の整備。成長の足跡はまだまだありますが、主なことだけにとどめておきます。

平成の桜の蕾がふくらみはじめる 3 月 15 日は閉講・卒業式です。卒業証書・奨励賞・学長賞・理事長賞などに記される「平成」の元号は本年で最後です。講師への感謝、よき仲間との出会い、学習の成果や自身の成長など、証書に込める思いは様々でしょう。元号の終わりにあたって「平成よありがとう」の気持ちで、受賞者はいうまでもなく、受賞を祝福する学生であふれるほどの式場になるといいですね。

「みなさん おめでとう。私たちは間もなく満開になります。元号が改まって春は巡って来ます。その時の満開の桜とまたお目にかかりましょう」と平成の桜の言葉が聞こえます。

◎『私の平成』を広報部に是非お寄せ下さい。

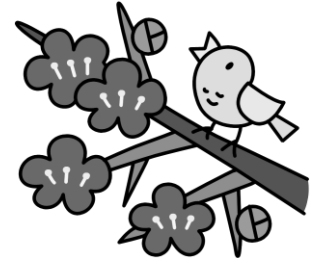
《《 福島復興支援ツアーに参加して 》》

俳句教室講師

田中 京

昨年 11 月 20 日好天の日、荒川シルバー大学から 30 名が 1 泊 2 日の福島復興支援ツアーに参加しました。福島の方達はリンゴ狩りやリンゴジャム作り体験、放射線量モニタリング施設や古関裕而記念館見学等のプログラムを企画して、私達を温かく迎えて下さいました。

7 年前の東日本大震災は千年に一度という大きな災害で、地震と津波により奪われた命は 2 万以上、家屋の損害は数知れず、更に地震と津波による原発事故で避難生活を余儀なくされた人で未だに元の家に戻れない人の数も 2 万以上というのが現実です。



思い出すのは数十年前、私が生活協同組合の会員として少しでも安全な食品を購入しようと努力していた時、日本各地の生協が原発反対運動をしていたことです。彼らの反対理由の中に、「原発が絶対安全であるという保障がないこと。耐用年数が切れた時、大きな原発の施設を負の遺産として私達の子孫に残してしまうこと」の 2 点がありとても気にかかりました。そして、彼らの危惧は現実のものとなってしまったのです。私達東京の住人に電力を供給するために福島に原発ができたのだと思うと、私達だけ快適な生活をしていて良いのかと申し訳ない気持ちになります。

福島の産物が未だに風評被害から抜け出せないでいることに心を寄せ、しっかりモニタリングをして安全なものを出荷しているのだから大丈夫だと、ツアーに参加した私達が周りの人達に伝えていこうと話し合いました。

帰りは、膝が痛くても腕が細くても太っ腹に直売所で買い求めた野菜や果物とお土産のリンゴを持ち帰りました。心優しい福島の方達に感謝の気持ちで一杯です。

今回の一句

復興の支援が縁や神無月

義援金と寄付金のご報告

◎学生・講師の皆様にご協力頂きました『平成 30 年北海道胆振東部地震』の義援金 267,000 円と『平成 30 年 7 月豪雨(西日本豪雨)』の義援金 267,000 円を、平成 30 年 12 月 18 日に荒川区役所を通じて、日本赤十字社へ寄付致しました。また、平成 30 年度の学園祭における陶芸チャリティの収益金より 42,640 円を平成 30 年 12 月 20 日に荒川区社会福祉協議会へ寄付致しましたこと合わせてご報告致します。
(理事長 岡田 芳子)

❀ ご協力ありがとうございました ❀

《《 朗読教室の発表会を聴いて 》》

第7回目の朗読教室発表会が昨年11月22日サンパール荒川小ホールで開催された。皆さんの練習の様子を聞き、毎年楽しみにしている。今年は小説をリレーで読むと聞きどんな形式になるのかと楽しみだった。

第一部は浅田次郎の「角筈にて」だ。この物語は“人と人とのつながり”を描いた物語だ。

「この静けさは何だろう…。シルバー大学の講演会や学芸会などの集まりは、何時も私語が多く、舞台上で一生懸命頑張っている学生に申し訳なく思うことが多々あるが、今日はどうしたことだ？周りを見回すけど、みんなシルバー大学の学生だ。舞台の学生も。何が違うの？舞台の学生の自信ある声か？全員静かな語り口調、それぞれ音域の高さは異なるが、聞きやすい速さ、間合いが年寄りの耳に丁度良いのか。声の良し悪しではなく個性、味を生み出しているかと。自分の朗読する文章の意味を理解して読んでくれている。それぞれに合った速さで。椅子に座って舞台に居る。自分の出番になるとマイクの前に立つ。その時の姿勢、呼吸、発声、表情、視線がしっかりしている。心を込めて文章を読んでいる。そのことが聞く私達に伝わってくるのだ。

第二部は宮部みゆきの「神無月」。豊職市蔵には押し込み強盗をしなければならない訳があった。病気の娘の命を守るため。出かける前に娘に作って残していくお手玉と懐に入れた数粒の小豆。岡っ引きと居酒屋の親父の会話を通して捕まえる側の水入りを、軽妙な語り口の二人の男子学生と池田先生との語りが入る。

各物語の合間にピアノの演奏が入り、我々聞き手を別世界へいざなってくれた。

第三部は吉野弘の詩「好餌」「祝婚歌」を群読し、全員で「旅愁」を合唱した。池田先生、朗読教室の皆様、お疲れ様でした。

楽しいひと時ありがとうございました。 (広報部 高山 順子)

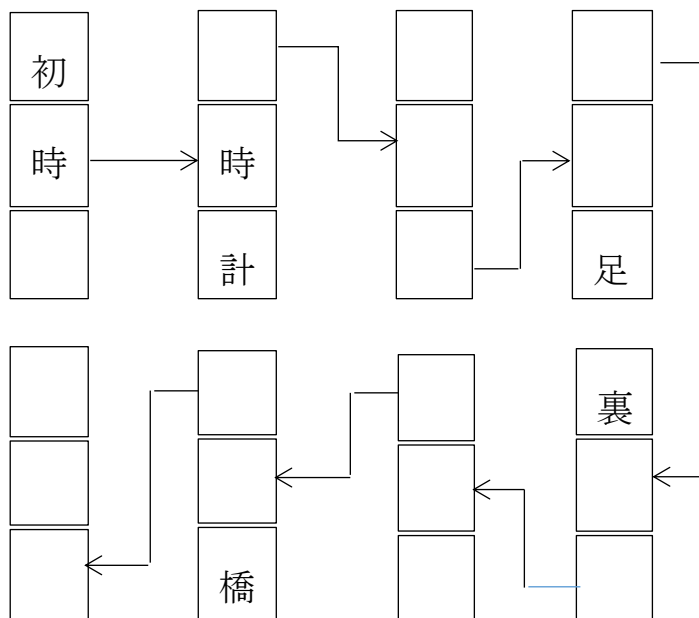
★もんだいです★

ヒント内の漢字をマスに入れ、三字熟語を作ってください。矢印でつながっているマスには同じ漢字が入ります。全ての漢字を使ってマスを埋めましょう。

*同じ漢字は2度使えません

ヒント

七	族	閑	千
鳥	大	五	古
家	三	雨	



(回答は4月号に掲載致します)

三月の行事

平成30年度 閉講・卒業式

日時： 平成31年3月15日（金）午前10時～

会場： サンパール荒川 3階 小ホール

一部

- | | | | |
|---|----------------|----|--------|
| 1 | 開式の言葉 | 7 | 学長賞授与 |
| 2 | 敬礼 | | 受賞者謝辞 |
| 3 | 理事長挨拶 | 8 | 理事長賞授与 |
| 4 | 卒業証書授与
答辞 | | 受賞者謝辞 |
| 5 | 学長式辞 | 9 | 感謝状授与 |
| 6 | 奨励賞授与
受賞者謝辞 | 10 | 校歌斉唱 |
| | | 11 | 閉式の言葉 |
| | | 12 | 敬礼 |

二部

- 1 記念撮影



★交歓会のお知らせ★

閉講・表彰式終了後、希望者による平成30年度交歓会を開催いたします。

会場：サンパール荒川 3階 小ホール 時間：午後1時～

◆◆◆◆◆ 2月の学園日誌 ◆◆◆◆◆

- | | | | |
|----|-----------------|-----|---------------|
| 1日 | 閉講・卒業式受賞者名簿作成 | 19日 | 広報委員会 |
| | 閉講・卒業式出席案内カード作成 | 27日 | 31年度年間日程表作成 |
| 6日 | 規約委員会 | 27日 | シルバーだより342号作成 |
| 6日 | 常任理事会・役員会 | 27日 | 閉講・卒業式表彰状準備 |
| 8日 | ～21日 31年度募集受付 | 28日 | 30年度学芸会 |

※ 事務局だより ※

1. 平成31年度の募集申込み受付について

31年度の募集受付が無事終了致しました。区の生涯学習課、福祉高齢者課および広報課、生涯学習センター他、皆様より多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。また役員の方々には、お手伝い頂きありがとうございました。

2. 受講生二次募集について 各教室の若干名の追加募集を致します。

期日：3月7日（木）～8日（金）時間：午後1時～3時 会場：シルバー大学事務所

3. 講師会について 日時：3月20日（水）午前10時より 会場：第一会議室

4. 写真教室展示会について

期日：3月14日（木）～18日（月）時間：9時～20時

会場：サンパール荒川 2F（初日は12時より最終日は15時まで）

（事務所）TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

（メールアドレス） arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp

室長・田原